

(2)種類別明細書(増加資産・全資産用)の書き方

- ・今回、初めて申告する人は、1月1日現在で所有している全資産を記入してください。
- ・資産の名称等は、漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字など20字以内で記入してください。

◆申告年度を記入してください。

◆所有者氏名
・氏名または名称を記入してください。

・この「種類別明細書(増加資産・全資産)」について、ページ枚数を付けてください。
【例:3枚のうち2枚目というように】

令和 6 年度 種類別明細書(増加資産・全資産用)

※所有者コード		所有者名		3枚のうち													
		阿賀野工業株式会社		2枚目													
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月				取得価額(イ)	耐用年数	減価償却率(ロ)	価額(ハ)※		課税標準額		増加事由	摘要
					年号	年	月	日				十億	百万	千	円		
01	6		パソコン	1	4	29	5	240,000	4	0.0						1-2 3-4	
02	6		応接セット	1	4	29	7	320,000	12	0.0						1-2 3-4	
03	6		エアコン	3	4	29	5	1,002,000	6	0.0						1-2 3-4	
04	6		紙幣整理機改造工事	1	4	29	8	250,000	5	0.0						1-2 3-4	
05																1-2 3-4	
06																1-2 3-4	
07																1-2 3-4	
08																1-2 3-4	
09																1-2 3-4	
10																1-2 3-4	
11																1-2 3-4	
12																1-2 3-4	
13																1-2 3-4	
14																1-2 3-4	
15																1-2 3-4	
16																1-2 3-4	
17																1-2 3-4	
18																1-2 3-4	
19																1-2 3-4	
20																1-2 3-4	
小計				6				0				0					

◆資産の種類
・それぞれ該当する番号を記入してください。

1. 構築物
2. 機械及び装置
3. 船舶
4. 航空機
5. 車両及び運搬具
6. 工具、器具及び備品

記入する必要はありません。

◆資産の名称等
・品名、規格、型式等を記入してください。
・カタカナで記入する必要はありません。

◆数量
・資産の数量を記入してください。

◆取得年月
・資産を取得(購入、製作)した年月を記入してください。
・年号は以下の数字で記入してください。

1. 明治
2. 大正
3. 昭和
4. 平成
5. 令和

◆取得価額(イ)
・資産を取得するために要した金額を記入してください。
(引取運賃、荷役費、手数料等も含む)
・圧縮記帳は、地方税法上では認められませんので、圧縮前の取得価額を記入してください。
・改良費は、本体とは区分して記入してください。

◆耐用年数
・減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表に掲げる耐用年数を記入してください。

(ロ)減価残存率 ~ ※課税標準額
・記入する必要はありません。
・ただし、独自の電算処理により申告を行う場合は記入が必要です。

◆摘要
・課税標準の特例がある資産については、その適用条項(例:法第349条の3第1項)を記入してください。
・耐用年数の変更があった場合には、その旨記入してください。
・その他、当該資産の価額の決定にあたって必要な事項があれば記入してください。

◆増加事由
・資産が増加したことについて、該当する増加事由の番号に○印を付けてください。

1. 新品取得
2. 中古品取得
3. 移動による受入れ
4. その他 → 増加事由を摘要欄に記入してください。

※移動による受け入れの取得年月は、移動した日ではなく、移動するもの自体の取得年月日を記入してください。

第二十六号様式別表(提出用)